

今年12月22日より、未開通区間だった道東自動車道の阿寒IC～釧路西IC間が開通し、札幌・釧路間が高速道路で直結したため、約4時間で移動できるようになりました。

今回は釧路にある『釧ちゃん食堂 釧之助本店』へ行ってきました。こちらのお店、近代的なデザインの大型複合施設です。正面入口から入って直ぐに、円柱水槽で泳ぐお魚さん達と釧ちゃん人形がお迎えしてくれます。1階フロアは、販売コーナー・寿司コーナー・揚げ天コーナー・バーベキューコーナーと、食欲をそそるものばかり。2階フロアには、広い食堂と水族館もあり、今回は一人でしたが家族みんなで楽しめそうです。

2階の食堂にて、今回お目当ての名物『特上海鮮丼』を暫し堪能しました。次回は何を食おうかと思案中です。

札幌営業所(所長:清水 壮次郎)

秋田駅には、とても愛嬌あって可愛い巨大な秋田犬と、赤と青のなまはげが二人。秋田駅は怖いのと可愛いので洒落たお出迎えをしてくれます。クリスマス仕様でさらに可愛さが増していました。

駅周辺は積雪しており、革靴では危ないため、スノーブーツに履き替えました。山沿いなどは大雪でしたので、車で走るのは危なすぎて行っていませんが、地元の方には普通のような。夕方の大雪の中でも、これから山越えて山形へ車に戻るという方もいらっしゃいました。博多生まれ福岡育ち、今は東京住まいの私からすると、素直にすごいなと感銘を受けました。もっと大雪で積雪している冬真っ盛りの秋田…いや、東北地方へも今後行けたらいいなと思います。いつか予定を立てたいと思います。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
-From the base in the world-



今回は、私がいつかはチャレンジをしてみたいと思っている、福岡県筑紫野市・太宰府市の『宝満山』をご紹介します。太宰府市の北東にそびえ立つ山で、古くから神々が宿る山として崇められてきた霊峰です。標高は829.6mで、最もスタンダードな登山道は、鬼滅の刃の聖地にもなっている宝満宮竈門神社より登るルートです。見どころも沢山あります。竈門神社で参拝→一の鳥居→石段の100段ガンギョ→頂上手前の休憩スポットである中宮跡→玉依姫命の伝説が残る馬蹄石→頂上では、360度を見渡せる大パノラマ…と選り取り見取りです。

また、豊かな自然の宝庫としても有名な場所です。春に桜、秋に紅葉はもちろん、四季を通して珍しい草花と出会うのも、この『宝満山』の魅力です。

急な勾配が続くルートのため、クライマーの友人からは「坐骨神経痛が完治するのと、もう少し痩せたら…」と遠回しに断られています(泣)。ダイエットを頑張り、いつかは登ってみたいと思います。



福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は石川県小松市の石川県立航空プラザをご紹介します。この施設は、1995年に開設された航空専門の博物館で、小松空港の北側に隣接した日本海側唯一の航空博物館です。

屋外には海上自衛隊のヘリコプターなどが展示されており、コックピットの中も見ることができます(実物なので当たり前ですが、リアルです…)。館内にもブルーインパルスが使用していた自衛隊機などが展示されており、こちらもコックピット、エンジンなどを間近で見ることができます。また、実際に全日空で使用されていたYS-11Aのフライトシミュレーターも体験することもできます。

他にも、2019年3月まで使用されていた、旧政府専用機(ボーイング747)の貴賓室が、防衛省から無償提供という形で展示・再現されています(本来、私たちが目にする事は無いような空間ですが…)。

飛行機の歴史等も学べる施設になっていますので、訪れてみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

大阪駅周辺、梅田再開発地区。先月もグラングリーンをご紹介しますが、まだまだ新規施設があります。

今回はKITTE大阪。ここはJPタワー大阪内にオープンした商業施設。JPタワーの名の通り、旧大阪中央郵便局の跡地を含む地区に建てられたビル。KITTE(キッテ)は『切手』と、多くの人に『来て』欲しいという想いを掛け合わせたそうです。

2階には日本各地のアンテナショップが集合していて、ご当地の名産やグルメが堪能できます。ここに高知カツオの薫焼きで有名な明神水産の店舗『明神丸』が関西初出店。高知ひろめ市場のあの味が、大阪でも食べられる様になりました。薫の香りと共に、肉厚なカツオを塩で頂くと幸せな気分になります。唯一の難点は、これを食べるとスーパーで買ったカツオのタタキが食べられなくなる事。でも、カツオのタタキが好きな方には一度試してもらいたいです。

それ以外も、各県色々な名産があるので他県の物もトライしてみたいですね。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

インドネシアは熱帯地方にあり、一年中平均30~32度ぐらいの気温です。インドネシアという国は横に広い国で、西から東まで5,000kmぐらいです。更に、インドネシアは島国であり、現在の時点で島の数は17,500以上あるそうです。どこへ行っても気温が同じぐらいで生活しやすいところでもあります。

外でやる運動活動は、例えばサイクリング、サッカー、サーフィン、ゴルフなどで、とても楽しくやれています。もちろん、一年中ずっと夏ではなく、雨が降る季節もあります。梅雨の時期は大体10月から3月までです。最近のインドネシアはどこの地域でも雨の降る回数が多いです。

先日、久しぶりに友達に「ゴルフをやりたい」と誘われました。やっぱり雨の降る可能性が高いのは屋過ぎなので、朝にゴルフを3人の友達と一緒にしました。この2週間ぐらい前に風邪で体がやられて運動も少し控えめにしていたので、9ホール目の後は大分疲れました。30分ぐらい休憩して、良かったことに疲れが少しずつ減り、18ホールまで頑張つてやりました。ゴルフ後、屋台へ寄ってインドネシア西スマトラの伝統料理で少し辛いパダン料理を食べました。ゴルフ友達は大体似たような年齢で50歳以上、まあオジサン、いやあ…お爺さんたちとゴルフをしたあと一緒に食事して、世間話をして、とても楽しく過ごしました。

12月もあとわずか。1年間何とか元気に過ごせたことを神様にありがたく思います。

それでは皆様、良いお年をお迎えください。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

～冬はやっぱりコレ～

冬の寒さが本格化してきました。この冬も寒くなりそうですが、中国には冬ならではのおいしい料理も豊富にあります。

火鍋。中国語では『フォグオ』ですが、これ、炎が燃え盛る鍋ではなくて、鍋料理の総称です。漢字の雰囲気では日本の『お鍋』に比べていっそう熱くて辛そうなイメージです。日本にも全国各地においしい鍋料理がたくさんですが、中国も負けなぐらい味や具材はさまざまです。

中国の火鍋は日本と異なるユニークな点がいくつかあります。例えば鍋が2つ、3つに仕切られており、複数の鍋スープが楽しめます。一つは唐辛子や山椒の効いた真っ赤な辛いスープ、もう一つは白湯の優しい味、もう一つはキノコ出汁のスープなど一度にいくつもの出汁が味わえます。さらに、タレコーナーで小皿にめいめい好きなタレや薬味を入れてオリジナルのつけ汁を作るスタイルもポピュラーです。具材は海鮮、野菜、肉類、キノコ、魚肉の練り物、海藻、豆腐類など日本人にもなじみ深いものが大半です。中でも豆腐類は普通の豆腐以外に、湯葉や凍り豆腐、固めの豆腐を麺のように細く切ったもの、湯葉を揚げたものなどがおすすめです。

寒い冬は一つの鍋を皆でつついて楽しく食事。これは中国もまさに同じです。冬はやっぱりコレ。冬の中華料理の一押しです。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

～初めまして、新たなスタートに向けて～

こんにちは！先日、KCSのジェネラルマネージャーに就任いたしました、Ayano Donnellyと申します。これからこの『拠点だより』を担当させていただきますことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

まずは、少し自己紹介をさせていただきます。私はアメリカで生まれ、日本で育ちました。母が日本人、父がドイツ人のハーフです。これまでの人生で、文化の違いを実感するたびにそれぞれの良さを取り入れながら生活してきました。20代の頃、再びアメリカに渡り、以来15年間、日本と行き来する生活を送っていました。そして5年半前、再びアメリカの地、カリフォルニアに移り住むことを決意しました。今ではコロナ禍も落ち着き、美しい気候と多様性に満ちたカリフォルニアでの生活を心から楽しんでいます。

私は沖縄で育ったので、幼い頃から海が大好きでした。カリフォルニアに来て初めて海に行った時、非常に印象的だったのは、幅広い年齢層の人々が水着でビーチを楽しんでいる光景でした。沖縄では、水着姿は主に若い世代や子どもを見守る親たちに多く、ほとんどは洋服のまま海で遊ぶことが一般的です。それと比べると、カリフォルニアでは年齢や体型に関係なく、皆が自分らしく水着を着て楽しむ雰囲気が新鮮でした。そのおかげで、私自身も気兼ねなく楽しめるようになり、改めて『自由』や『多様性』の魅力を実感しました。

これから、こういった私の視点や経験を交えながら、皆さんに楽しい内容をお届けしていければと思っています。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします！

KCS(アメリカ)(GM: Ayano Donnelly)

12月といえば休暇、ショッピング、クリスマス、そして年末の月として広く知られています。たくさんの楽しいイベントが詰まったこの月を心待ちにしている人も多いかと思います。

いつものように、シンガポールは今後のイベントに向けて道路や屋外スペースの飾り付けで忙しくしています。

クリスマスといえば、たくさんの装飾と雪に似せて白い粉を振りかけたクリスマスツリーが思い浮かびます。ある屋外スペースで、ピンク色のクリスマスツリーを見ました。ツリー全体がピンク色で、もちろん飾り付けもされています。今ではツリーはもはや緑だけではなく、より良い体験を創るためにさらに想像力を働かせて遊んでいます。

2024年ももうすぐ終わりです。今年も、良い思い出も悪い思い出もたくさん残したことでしょう。

皆さんが良い成果をあげ、来たる新年に向けて準備が整うことを願っています。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

この記事を読んでいるときにはすでにクリスマスが過ぎ、年末年始、家族や友人とたくさんの喜びを味わっていることでしょう。

2025年は新たな課題、期待、そして善意とともにやって来ます。毎年、私たちは新たな目標を設定し、これらを実現するために努力します。それが人間の本質です。より良くしたい、自分自身や周りの環境を改善したいという想いが、より良い人物になるための目標を与えてくれるのです。

今年のあなたの目標は何ですか？目標を達成できることを願いますが、それよりも重要なのは、あなたが今の生活で幸せであることです。人生が幸せであればバランスが取れ、周囲をよりよく維持し、ここにいる貴重な時間をより楽しむことができます。目標を設定することは素晴らしいことですが、実現可能なものにしてください。そうすれば、ストレスを溜めずに次のポイントに進めるため、すでに達成したことを喜び、恵まれていることに感謝しましょう。

どうかお体に気をつけて楽しんでください。2025年が素晴らしい年になりますように！

KIO(オランダ)(Ferri Visser)